

■質問

危険断面位置の指定方法を教えてください。

■回答

危険断面位置の指定方法は下記によります。

大梁・柱が曲げ降伏する時の降伏ヒンジが発生する位置です。

袖壁・垂壁・腰壁の取り付け大梁・柱の危険断面位置は壁端位置とします。

壁が取り付けられない場合には以下のいずれかに設定出来ます。

- ・ 節点位置
- ・ 大梁・柱のフェイス位置

[設定方法]

メインメニュー・計算条件 → ツリーメニュー・共通計算条件 → 「保有耐力計算方法」ダイアログ → 「解析モデル」から 4・5 段目で入力します。

- ・ RC造の場合 : 「解析モデル」から 4 段目、下図においては①の項目
- ・ S 造の場合 : 「解析モデル」から 5 段目、下図においては②の項目
(下図参照)

(参考図)

[「保有耐力計算方法」ダイアログ]

解析モデル

(デフォルト状態)

① 壁の付かないRC・SRC柱・梁、WRC壁の危険断面位置 :	<input checked="" type="radio"/> フェイス	<input type="radio"/> 節点
② S柱・梁の危険断面位置 :	<input type="radio"/> フェイス	<input checked="" type="radio"/> 節点
危険断面位置の設定方法 :		

(「保有耐力計算方法」ダイアログの中段にあります)

[RC造の場合]

